



くまきよしき

市政レポート 第9号

昨年度は能登半島地震からの復旧・復興にはじまり、高岡市政としても色々な動きがあった一年であり、私自身においても、子どもが生まれるなど重要な一年になりました。うまくいったこと、うまくいかなかったこと様々ありますが、しっかり振り返り、任期最後の一年間に結果を残せるよう、引き続き全力で取り組んでまいります。

高岡市議会議員

熊木義城

くまき

よしき

30歳

成美小、志貴野中、高岡南高、立命館大卒業
株式会社パナソニックグループ、
京都市議会議員秘書を経て
高岡市議会議員選挙に当選。
現在1期目。会派「高岡愛」所属。

【活動報告】いよいよ市議としての任期は最終年。



昨春、能登半島地震の被害が残る石川県輪島市に伺い、高岡青年会議所の一員として、災害ボランティアに参加しました。私の担当は主に仮設住宅の入居準備。入居される世帯の人数に合わせて、家電や家具等を家に運び込む作業をお手伝いしました。このときはまだ上下水道の復旧はもとより、道路状況も厳しい状態でした。早急な復旧・復興を今後も後押ししてまいります。



高岡市決算特別委員会にて、古城公園の樹木管理行動計画の現地視察へ。公園内が少しずつ綺麗になってきていると感じる方も多いのではないのでしょうか。令和5年度からおおよそ30年かけ、古城公園の木が整理されていく予定です。

自民党第三選挙区支部の青年部にて、東京へ研修に訪れました。総裁選に出馬を表明する直前の現・石破茂総理より、「人口減少下の地方の将来像について」の講演をいただきました。地方こそ高付加価値産業と魅力ある雇用の創出が重要と話され、国でも後押ししていくべきと述べられました。



高岡市議会にて、高校生を対象にした議会報告会を実施しました。私は、「議会の役割」についての説明を担当。市役所と議会の両方で市民の声をお聞きし、実現していく二元代表制についてお話ししました。「貴重な体験ができた」「実践的に学べた」という声をいただき、ありがたい限りです。



昨年度より、地域の除雪オペレーターをさせていただいております。まだまだ未熟ですが、もっと経験を積み、地域の役に立てればと思います。



私の生まれ育った母衣町が開町200周年を迎えました。記念事業のお手伝いをさせていただき、160周年時の銅像が綺麗になりました!!

初心を忘れず、走り切ります！

【議会報告】人口減少・少子化問題はまったなし？

第二子保育料の無償化、前進か？

初当選以来、第二子保育料の無償化をぜひ検討し、進めてほしいという質問を繰り返して行ってきました。その兆しがようやく見えてきたので、期待しています。なぜこのような提案を続けてきたかといえば、第二子以降の経済的支援は、少子化対策に有効だと考えているからです。全国の自治体では、保育料に関する無償化が進んでいます。有名なのは兵庫県明石市ですが、明石市は、子育て支援政策に力をいれることで、合計特殊出生率（ひとりのお母さんから生まれてくる子どもの数の平均）を1.6～1.7にまで向上させています。全国平均は1.3程度なので、非常に高い水準を保っています。富山県は、2030年までに1.9までの回復を目指していますが、高岡市はだいたい1.4～1.5ほどで、まだまだ目標との乖離があります。人口問題は、個人の選択の自由も関わるのでデリケートな部分もある問題ですが、私は、この現状が続けば、数十年後に地域社会は取り返しのつかない状態になると予想されるので、やはり今こそ力を入れて取り組まなければならないと思っています。そのために有効な手段として提案していた、第二子保育料の無償化については、富山県が実現に向けて進みはじめることが明らかとなりました。詳細は、今後連携する市町村と話を進めるとのことですが、先日の12月議会において、高岡市にはぜひ県と連携してスピーディーに進めてほしいという提案を行いました。数年間私も主張してきたことですが、子育て世代からの希望の問い合わせも多いテーマですので、今後も後押ししていきたいと思います。高岡市の出生数、2024年は843人でした。ここ2年、1000人を割り込み、最も低くなっています。私が生まれた1990年代はだいたい約1500～1600人なので、まさに半減…対策が急務です。



重要性を実感した産後ケア、もっと使いやすい制度に！



2024年中に第一子が誕生し、父親になりました。大変うれしい反面、しっかり社会に送り出せるよう、責任を感じています。これからも子育て世代の当事者として、自身の体験や同世代の声を集め、市政に反映できるようしっかりと精進してまいります。子どもが生まれたあとは、産後ケアについての質問を多くさせていただきました。高岡市も産後ケアの充実に力を入れており、条件緩和やクーポン券の配布などを行っています。例えば、以前は、ケアを受ける条件が「親族に支援が受けられない方」など限定的でしたが、令和6年度からは、「産後ケアを希望する方」に拡大し、広くサービスが利用できるようになりました。また、私からは6月の議会で「利用申請をネットで行えるようにしてはという提案」をさせていただきましたが、秋頃に実現に至りました。

私も恥ずかしながら自分が当事者になるまで、その重要性を十分に理解していなかったのですが、産後のお母さんは、子育てによる度重なる寝不足と疲労によって疲弊する方が多く、産後うつも大きな社会課題となっております。産後ケアは、お母さんが疲労や悩みをひとりで抱え込み、追い詰められてしま

う前に、行政、社会と力を合わせ、休める機会を提供したり、子育てに関する相談ができることで身体的、心理的ケアを行う重要な取り組みです。特に、社会が変化し、核家族化が進むいま、家族にもなかなか頼れない状況が増えています。このような課題をまち全体で解決できる仕組みが整っている高岡市は、ほかの市町村にない強みがあるとも言えると思っています。また、産科休止している市民病院においても、産科が休止しているからこそ、産後ケアに集中できるという側面もあるのでは、と思います。市民病院の利用向上にも繋がります。しかしながら、このような動きが十分に伝わっていないことも問題のひとつです。産後ケアを利用される方からは、「自分が利用していいのか迷った」という声も多くあるそうで、現場でケアに携わる方からは、「ぜひもっと利用してほしい」という想いも伺いました。さらなるサービスの充実に加えて、広報や利用しやすさにも工夫を加えてもらえるよう、引き続き提案を続けてまいります。

市役所は移転するのか？

にわかに市役所が移転するのでは？という話が出ております。2024年11月に、高岡南部地域活性化推進協議会（高岡市南部地域のまちづくりを研究し、活性化に向けて活動する団体）から、高岡駅南のいわゆる「ダイエー跡地」へ市役所を移転しては、という要望がありました。また、この後の12月の議会においても、高岡市から、このダイエー跡地について、「取得を含めて利活用を検討していきたい」という答弁がありました。詳細は未定ですが、一部報道では、役所移転を含めた可能性も指摘されています。

ダイエー跡地については、様々な話が混ざって広がっているように感じます。ダイエー跡地取得とその利活用が、市役所移転につながるかはまだ議論になっていません。個人の感想としては、そもそも土地取得より、ダイエー跡地を「何のために取得するか」「どう活かせるのか」という議論を先に十分にすべきではと感じていますが…市庁舎整備については、まず整備に向けたロードマップ（検討項目やおおまかなスケジュール等）が示されました。いずれにせよ、「市役所をどうするか」という重要なテーマについては、着実に話が進んでいきそうです。



日々の活動はSNSから！

市政に対する
ご意見やご相談など、
SNSやメールにて
承っております。



公式ラインのメッセージ
機能からお気軽に
お問合せいただけます！



今回のチラシに関するご意見・ご感想など、どんな内容でもお気軽にお問い合わせください！

✉ y.kumaki26@gmail.com

🌐 <http://kumakiyoshiki.com/>

自由民主党「高岡愛」所属 熊木義城

熊木義城瓦版第11号編集・発行人：熊木義城
933-8601 高岡市広小路7-50 高岡市議会 令和7年2月15日発行

討議資料

